



図：亘理町逢隈十文字周辺の海水流入土壌の純水洗浄回数と電気伝導率（左）および浸出液pH（右）

3月19日に松本俊彦氏が採取した表層土壌試料のうち1:5水浸出法による電気伝導率(EC, mS/cm)が最大と最小の試料を用い、純水による洗浄回数と浸出液ECおよびpHの関係を室内実験で検討した。代かき時灌漑水量の影響は固液比1:5（実線）および1:2～1:3（破線）で比較した。前者は毎回50～60%、後者は毎回30%前後の水を排出後に相当分を純水で補充。